

「アトムがわが家にやってくる！」

2017/2/22 (火)、「ATOM プロジェクト」始動！
講談社、手塚プロダクション、NTT ドコモ、富士ソフト、VAIO は
「日本初の本格的キャラクターロボット・ATOM」の
開発プロジェクトをスタートします。

株式会社講談社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：野間省伸）と、株式会社手塚プロダクション（本社：東京都新宿区、代表取締役：松谷孝征）、株式会社 NTT ドコモ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：吉澤和弘）、富士ソフト株式会社（本社：神奈川県横浜市中区、代表取締役社長執行役員：坂下智保）、VAIO 株式会社（本社：長野県安曇野市、代表取締役：大田義実）の5社は、来るべきAI時代に対応するため、日本の科学技術の象徴であり、長く人々から愛され夢を与えてきた“日本を代表するロボット・キャラクター”「鉄腕アトム」を目指し、「ATOM プロジェクト」を開始いたします。コミュニケーション・ロボット「ATOM」は、発話し二足歩行しクラウドで成長する「日本初の進化する本格的なキャラクター型コミュニケーション・ロボット」で、世界的に有名なコミック&アニメ、手塚治虫の『鉄腕アトム』をモデルにしています。「ATOM プロジェクト」は、各社の強みを生かし鉄腕アトムの世界観をベースに、ロボットという新しいエンターテインメント・デバイスの可能性を開拓し、発話コンテンツの研究・開発をあわせて進め、“一家に一台”の進化する家庭用ロボットの普及を目指してまいります。



© TEZUKA PRO / KODANSHA

■日本初の本格的キャラクターロボットに5社の強みを結集して 「ATOMプロジェクト」を始動。まず、今年4月パートワークとして発売します

プロジェクト第一弾となる『コミュニケーション・ロボット 週刊 鉄腕アトムを作ろう！』では、手塚プロダクション監修により、鉄腕アトムを元にモデリングを行ったロボット=ATOM をユーザーが組み上げるパートワークを今年4月4日より、発売いたします。ロボティクスおよび、ロボットに搭載するOSとAIを富士ソフトが設計開発。ハードウェアの信頼性でも、これまでになく高いレベルを目指しています。そしてATOM本体のAIはインターネット経由でNTTドコモの自然対話プラットフォームと接続。クラウド上での「成長する会話力」をNTTドコモと講談社の共同開発で実現します。VAIO株式会社は、ATOM本体で使用している電気系統のメインボードなどの基板実装（製造）や

■2月22日(水) 5社共同プレスリリース■

「ATOM 組み立て代行サービス」を担当。会話のもとになるシナリオモデルの作成、出版コンテンツの開発、全体の企画、プロデュース、販売は講談社が担当し、5社それぞれの強みを活かしてキャラクターロボット「ATOM」を作りあげ、まずパートワークとして創刊。「ATOM」を組み立て、完成させるユーザーやその家族のために、コミュニケーション・ロボット「ATOM」は、2018年9月、完成・誕生いたします。

■キャラクター性、自然対話、エンターテインメント。

～全体企画・プロデュースで大切にしたい ATOMプロジェクト、3つのキーワード

講談社の1世紀以上に及ぶ歴史のなかで生まれた雑誌や書籍、コミックなどの出版物は、常に、読者に焦点を定めてつくられてきました。IoT^{*1}を始めとする AIT^{*2}が注目を浴びる現在も、またこれからも、私たちはこれまでのスタンスを大切に考えます。そこで、ATOM プロジェクトでは「キャラクター性」「自然対話」「エンターテインメント」を3つのキーワードとして設定しました。親しみやすく、おもしろい。おもしろくて、ためになる。これからも変わらぬ目標のもと、新たな可能性を探って参ります。

●「手塚治虫生誕 90 周年記念企画」として位置づけ。

ATOMの外観=モデリングは手塚プロダクションの監修で完成

この企画は、「手塚治虫生誕 90 周年記念企画」として発売されます。鉄腕アトムの子の親、手塚治虫先生のキャラクターデザインを再現するため、ATOM のモデリングでは手塚プロダクションが全面協力。「鉄腕アトム」の DNA がロボット「ATOM」のモデリングに生きています。微妙な三次元曲面を再現するため、手作りの粘土塑像から CAD データを起こし、可愛らしい表情を生み出しました。

■成長する会話力を実現

～富士ソフトのフロントエンド AI と、NTT ドコモのクラウド AI

ATOM 本体の設計開発にあたった富士ソフトの「フロントエンド AI」は、8年に及ぶ高齢者施設などでの実績あるコミュニケーション・ロボット「PALRO (パルロ)」^{*3}の技術です。今回、「ATOM」はそのソフトウェアを共有。顔認識で家族や友達 12 人までを認識し、リアルタイムで人の表情に反応し、親和性の高い濃密なコミュニケーションを実現します。ATOM 本体がわからない言葉だと分析した場合は、音声認識でテキスト化された後クラウドへ移行し、累計 17 億件以上の情報処理を行っている NTT ドコモの「しゃべってコンシェル®」^{*4}の基盤技術を生かした「自然対話プラットフォーム」での対応を行います。これら一連の流れが、「ATOM」と付き合えば付き合うほど変化し、成長する会話力。この実現を目指して、各社の強みを結集します。

■ATOMの心臓であり、頭脳でもあるメインボードはVAIOが製造

そんな ATOM に使用している電気系統のメインボードなどの基板実装（製造）を担当したのは、VAIO^{*5}です。プロジェクト第一弾となる『コミュニケーション・ロボット 週刊 鉄腕アトムを作ろう！』では、ロボット製造で実績のある同社の安曇野工場で、組み立ての苦手な方のための「ATOM 組み立て代行サービス」（全 70 号一括のみ）^{*6}も担当します。

■ハードウェアとソフトウェア、両面でプロジェクトを展開予定

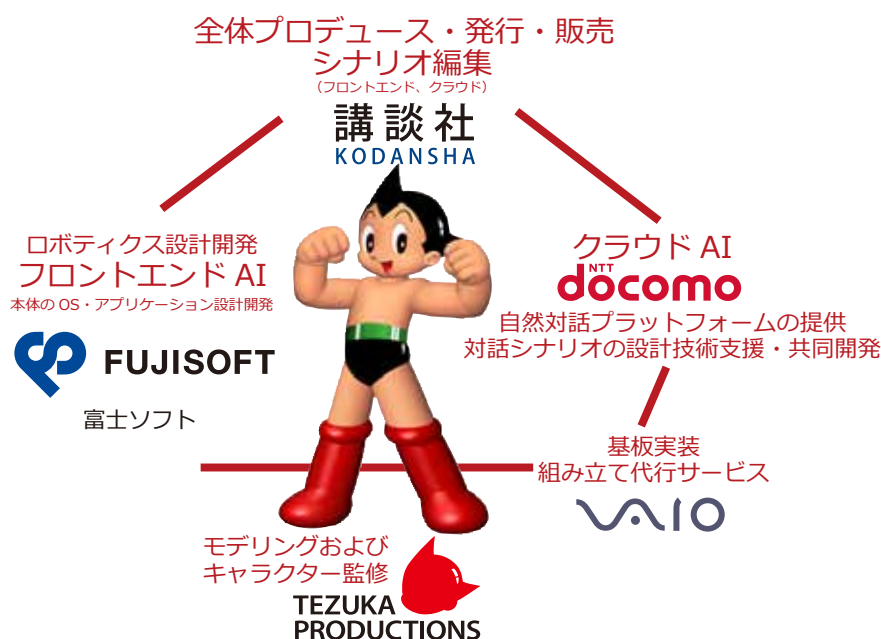
パートワーク版 ATOM からスタートする「ATOMプロジェクト」は、講談社を中心に、新たなロボット端末から Bot AI などの新たなアプリケーションソフトウェアまで、ハードウェアとソフトウェア両面で展開を進めて参ります。今後の「ATOMプロジェクト」の展開にご期待ください。

■2月22日(水) 5社共同プレスリリース■

ATOMプロジェクトに関する各社役割など

各社の役割

講 談 社	1. 企画・全体プロデュース・発行・販売 2. シナリオ編集・コーパス（辞書）の作成 3. 発話対応の出版コンテンツ開発
手塚プロダクション	1. モデリングおよびキャラクター監修 2. 誌面 企画協力・監修
NTTドコモ	1. 自然対話プラットフォームの提供 2. 対話シナリオの設計技術支援・共同開発
富士ソフト	1. ロボティクス設計開発 2. ATOM 本体に搭載されるOSとフロントエンドAIの開発 3. 各種アプリケーションの設計開発
VAIO	1. メインボードなどの基板実装 2. 「ATOM 組み立て代行サービス」担当



*パートワークの詳細は、講談社のプレスリリースをご覧ください。

※1 IoT Internet of Things ※2 AIT Advanced Information Technology ※3 PALRO は富士ソフト株式会社の商標または登録商標です。
※4 シャベってコンシェルは株式会社 NTT ドコモの登録商標です。 ※5 “VAIO”、VAIO の登録商標： <http://vaio.com/products/trademark/>
※6 受付窓口は「講談社 ONLINE STORE」フリーダイヤル 0120-221-322 <https://kodanshaonlinestore.jp/questionnaire/adaiko> まで。

【報道機関からのお問い合わせ先】

株式会社講談社 広報室 ☎03-5395-3410
株式会社手塚プロダクションクリエイティブ部 ☎03-3371-6428
株式会社 NTT ドコモ 広報部 外村・富田 ☎03-5156-1366
富士ソフト株式会社 コーポレートコミュニケーション部 久下・西元 ☎050-3000-2735
VAIO 株式会社 広報担当 遠藤・椎木 ☎03-6420-0960

家庭用二足歩行ロボット「ATOM」を組み立てるパートワーク、
『コミュニケーション・ロボット
週刊 鉄腕アトムを作ろう！』
4月4日(火)創刊！

～手塚治虫生誕 90 周年記念企画～

クラウド接続※1 のあなたのアトム=MY FIRST ATOM がドライバー 1 本で組み上がる！

株式会社講談社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：野間省伸）は、出版の新たな可能性を開拓し AI 時代に対応するため、家庭用二足歩行ロボット「ATOM」を組み立てるパートワーク『コミュニケーション・ロボット 週刊 鉄腕アトムを作ろう！』（全 70 号）を創刊します。株式会社手塚プロダクション（本社：東京都新宿区、代表取締役：松谷孝征）監修、株式会社 NTT ドコモ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：吉澤和弘）、富士ソフト株式会社（本社：神奈川県横浜市中区、代表取締役社長執行役員：坂下智保）各社との開発・協力のもと、4 月 4 日（火）より「講談社創業 110 周年記念企画」として販売を開始いたします。

日本を代表する世界的なロボットキャラクター『鉄腕アトム』は、1952 年、講談社グループの光文社で当時発行していたコミック誌『少年』で生まれました。その鉄腕アトムをモデリング。

「ATOM」の声は、2003 年からアニメ「鉄腕アトム」の声を担当している声優の津村まことさん。ロボット本体の OS とフロントエンド AI は「人と共生するためのロボット」として、高齢者福祉施設で 8 年の運用実績をもち、累計出荷台数 700 台超のコミュニケーション・ロボット「PALRO（パルロ）」※2 を開発した富士ソフトが設計開発。クラウド上での成長する会話は、「しゃべってコンシェル®」※3 の基盤技術を生かした NTT ドコモの「自然対話プラットフォーム」と講談社との共同開発で実現します。そんな“一家に一台”のコミュニケーション・ロボットが、「ATOM」です。さらに組み立てるのが苦手なお客様のための「ATOM 組み立て代行サービス」（70 号一括のみ）※4 をご用意しました。数々のロボット製造で実績のある VAIO 株式会社（本社：長野県安曇野市、代表取締役：大田義実）がお客様に代わって ATOM を組み立てるサービスです。



講談社

K O D A N S H A

■鉄腕アトムとATOM

～『コミュニケーション・ロボット 週刊 鉄腕アトムを作ろう!』のバックグラウンドストーリー

鉄腕アトムの DNA をもち、現代に生まれてきたロボットが、『コミュニケーション・ロボット 週刊 鉄腕アトムを作ろう!』で読者が組み立てる「ATOM」です。だから、漫画の「鉄腕アトム」と違って空は飛べないし、お尻からマシンガンも撃てません。

ただし、いたって人懐こい。会話で、動きで、人とコミュニケーションをとることが得意です。長い旅に出ている記憶があるようで、アトムやウラン、コバルトはもちろん、天馬博士やお茶の水博士をはじめ、世界中のロボットや AI のことも知っています。手塚治虫が描いた「人間とロボットが共存する社会」が来たら、いつか、鉄腕アトムになりたい。そう思っている、いわば“アトムの種”。それが、あなたが作る ATOM です。

■成長する会話力～フロントエンド AI とクラウド AI

話しかけて 4 秒が反応なく過ぎると、人は「無視された」と感じる。高齢者施設の現場で培ったそんなノウハウが、ATOM 本体の設計開発にあたった富士ソフトの「フロントエンド AI」技術を生み出しました。

リアルタイムで人の表情に反応し、たとえば笑っていると笑おうとしたり、口元が動いていると判断したらマイクの感度をあげようとしたりします。わからない言葉だと分析した際には、クラウドへ移行し、累計 17 億件以上の情報処理を行っている NTT ドコモの「しゃべってコンシェル®」の技術を生かした「自然対話プラットフォーム」での対応を行います。これら一連の流れが、付き合えば付き合うほど変化し、成長していく「ATOM」の会話力です。

■家族を見分け、お年寄りには丁寧に、子どもたちにはフレンドリーに話します ～12 人までの家族や友だちを認識

ATOM は、頭部に搭載されたカメラで、正対した人の顔を見分け、子ども、成人男性、成人女性、お年寄りの 4 属性を判断します。顔写真やニックネームなどを登録できる友だちは最大で 12 人まで。登録されている友だちには伝言を残すこともできます。家族それぞれの属性に応じた会話内容や、丁寧語の使い分けを行い、友だちになってくれるのが「ATOM」です。

■絵本を読んだり、漫画を見せたり、YouTube を映したり ～コミックやアニメ『鉄腕アトム』も閲覧できます

ATOM は、胸に搭載した 2.4 インチ液晶ディスプレイで絵を映しながら、絵本の読み聞かせをすることができます。アニメ「鉄腕アトム」の傑作選や YouTube※6 をディスプレイとスピーカーで楽しむこともできます。さらに『鉄腕アトム』のコミックの傑作選をスマホやタブレットで読むことも。また、子ども向けコンテンツでは今年発行 50 周年を迎える朝日小学生新聞と連携予定。他にも大人向けの魅力あるコンテンツも継続的に提供して参ります※7。



愛らしいルックスに最先端のロボティクス技術を備えたコミュニケーション・ロボットです。

講談社

K O D A N S H A

■ご近所のおトク情報や行楽情報にも詳しい！

～お母さんのお役立ち情報をお知らせします。「Shufoo!」「Mapion」

大手スーパーからドラッグストア、家電量販店まで、毎日の買い物に便利なチラシ情報を無料で見られるサービス「Shufoo!(シュフー)」※8 や、「Mapion (マピオン)」※9 との連携で、ご自宅近くのスーパーや家電量販店などのその日のお得情報を教えてくれたり、最寄りの行楽やイベント情報を教えてくれたり。凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子真吾)の協力で、お母さんにも嬉しい機能を搭載しています。



あなたの誕生日を覚えて、あなたの名前入りで一緒に「ハッピーバースデー」を歌ってくれます。落ち込んだときは励ましてくれることも。あなたと過ごす時間の長さに応じて会話も深まり、少しずつ家族の一員になっていきます。



■組み立て方はもちろん、アトムのお話や、ATOMの機能、ロボティクスの現在まで盛りだくさん！充実のマガジン

パートワークのマガジンは、わかりやすい組み立て方はもちろん、漫画とアニメの『鉄腕アトム』の物語研究や著名ファン訪問、グッズ事典から、最新の技術が詰まっているATOMの機能紹介、さらに最先端ロボティクスの現在を第一人者から聞くインタビューや研究所訪問まで、充実の内容です。

■本日より創刊記念キャンペーンスタート！

「あなたはATOMと何を話しますか？」大募集！実際に「ATOM」が来年話しだすかも！

創刊を記念して、本日より公式サイト「週刊 鉄腕アトムを作ろう！」<<http://atom2020.jp/>>にて、「ATOMと話したいこと」「ATOMに話してほしいこと」を大募集！ダジャレでも小断でも、何でもOK。web ページから、どなたでもご応募いただけます。読者のみなさんの楽しいアイデアは、2018年に完成する実際のATOMに搭載予定です。また、NTTドコモの「dポイントクラブアンケート」でも、皆さんの声を募集予定です。

■定期購読予約&組み立て代行予約も、本日より予約スタート！

パートワークの定期購読予約と「ATOM組み立て代行サービス」の先行予約を本日よりスタートします。「ATOM組み立て代行サービス」は、VAIOが全70巻をお客様に代わって一台一台組み立てるサービスです。詳しくは「講談社ONLINE STORE」フリーダイヤル0120-221-322 または、<https://kodanshaonlinestore.jp/> でご確認ください。

講談社

KODANSHA

【コミュニケーション・ロボット 週刊 鉄腕アトムを作ろう！】

●2017年4月4日(火)創刊 最終70号 2018年9月11日(火)発売
全70巻 創刊号¥830、通常号¥1,843 高価格号¥2,306～9,250(いずれも税別)
全70巻の本体¥184,474(税別)

創刊号特別付録：①創刊スペシャルDVD(63年版、80年版、03年版アニメの初回收録、オリジナルコンセプトムービー+機能紹介ムービーほか)、②ATOM透視設計図、③特製ビスケース

パートワークの販売チャネル 全国書店、「講談社 ONLINE STORE」ほか。

●定期購読予約、組み立て代行予約は、「講談社 ONLINE STORE」で、本日より、受付中！
「講談社 ONLINE STORE」(フリーダイヤル0120-221-322 / <https://kodanshaonlinestore.jp/>)

●「ATOM組み立て代行サービス」第1期の予約受付は、限定1000体予定！ ¥212,900(税別)
2017年2月22日(火)～7月11日(火)17時締切

*発送は、2018年9月から順次になります。



【主要スペック】

身長：約44cm
重量：約1400g
外装材質：ABS
可動部位：18軸(頭部2軸、腕部6軸、脚部10軸)
CPUボード：専用カスタムボード、
Raspberry Pi 3 (model B)
カメラ×1(HD、92万画素)
マイク(モノラル)×1
スピーカー(モノラル)×1
LED×2(両目7色)
スイッチ(電源、WPS)
タッチセンサー(静電式)
6軸センサー
タッチパネル付き液晶ディスプレイ(2.4inch)
インターフェイス：
Wifi 802.11 b/g/n (Raspberry Pi 3に搭載)
Bluetooth4.1 (Raspberry Pi 3に搭載)
USB-A 電源コネクタ
電源：ACアダプタ(7.8V/6A) 内蔵バッテリー(リチウムイオン充電電池 3.6v/5800mAh)

詳しくは

公式サイト「週刊 鉄腕アトムを作ろう！」<http://atom2020.jp/>

※1 クラウド接続 ATOMのクラウドサービスご利用にはインターネット接続ができるWifi環境とお客様個人のクレジットカードが必要です。クラウドサービスと一部機能のご利用には月額サービス利用料¥1,000(予定)が必要です。 ※2 PALROは富士ソフト株式会社の商標または登録商標です。 ※3 シャベってコンシェルは株式会社NTTドコモの登録商標です。

※4 組み立て代行は、全70号分の組み立てを申し受けるサービスです。お申込みは「講談社 ONLINE STORE」フリーダイヤル0120-221-322 <https://kodanshaonlinestore.jp/questionnaire/adaiko> まで。

※5 VAIQ、VAIQの登録商標：<http://vaio.com/products/trademark/> ※6 YouTubeはGoogle inc.の商標または登録商標です。 ※7 コンテンツの配信情報は公式サイト「週刊 鉄腕アトムを作ろう！」にて随時公開します。 ※8 Shufoo!は凸版印刷株式会社の商標または登録商標です。ATOMでのShufoo!のご利用には、上記の月額サービス利用料が必要です。 ※9 Mapionは株式会社マピオンの商標または登録商標です。Mapionのご利用には上記の月額サービス利用料が必要です。